

岩手コンポスト株式会社  
2021年度 環境活動レポート

(2021年1月～2021年12月)

発行 2022年4月1日

代表取締役社長 あいさつ

岩手コンポスト株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

岩手コンポスト株式会社  
代表取締役 菅原 優

# 岩手コンポスト株式会社環境方針

## 1. 基本理念

岩手コンポスト株式会社は、ますます増加すると思われる下水道、農業集落排水、し尿脱水汚泥、生ごみをリサイクルすることで資源循環型社会のニーズに貢献し、良質の肥料として緑化事業用及び農業用の資材を提供して、農産物の品質向上や増産に寄与できるものと確信しており、全社一丸となって、継続的改善に取り組んでいくことを誓約します。

## 2. 方針

### 1. 地球温暖化防止のために、二酸化炭素の排出削減を推進

- ①工場・事務所の電力消費に伴う二酸化炭素排出量削減
- ②自動車・重機燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量削減

### 2. 限りある資源の有効利用のため、廃棄物削減を推進

- ①事務所の一般廃棄物(紙類)の排出量削減
- ②工場・事務所の産業廃棄物(廃プラ)の排出削減

### 3. 水の適正な利用・適正な排水処理を推進

- ①事務所における節水に努める
- ②洗車製造現場における適正な水利用に努める

### 4. 環境に配慮した製品の開発・販売促進を推進

- ①下水道・し尿汚泥・木くず等をリサイクルした緑化事業用「緑化基盤材」の提供
- ②下水道・し尿汚泥・生ごみ等をリサイクルした農業用「コスモグリーン」「スーパーゆうき」の提供

### 5. 「エコ安全ドライブ」を通じ、省エネ運転(コスト削減)・環境対策(CO2削減)を推進

### 6. 環境関連法規制等の遵守

制定日 平成21年11月 2日  
改定日 令和 3年 5月11日(3版)

岩手コンポスト株式会社  
代表取締役社長 菅原 優

□組織の概要

事業所名		岩手コンポスト株式会社				
代表者名		菅原 優				
本店所在地		岩手県花巻市石鳥谷町五大堂第6地割1番地13				
新堀倉庫所在地		岩手県花巻市石鳥谷町新堀第9地割36番地1				
環境管理責任者		二ツ家 辰身				
エコアクション2.1担当者		中島 陽司				
連絡先		電話	0198-47-2999	ファクス	0198-47-2174	
		E-mail	info@iwate-compost.co.jp			
事業活動の内容		岩手県内産業廃棄物の中間処分と収集運搬業 岩手県内一般廃棄物の処理及び運搬業 上記産業廃棄物・一般廃棄物の肥料化及び肥料の販売				
事業の規模		平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	
	収集運搬量 t	12,274.60	13,904.98	12,424.82	11,677.08	
	処分量 t	21,605.85	27,231.06	25,525.04	23,411.85	
	最終処分量 t	0.00	0.00	0.00	0.00	
	売上高 百万円	327	405	374	355	
注：収集運搬料及び処分量について一般・産業廃棄物の合計量で示しています。						
法人設立年月日		平成元年3月17日	資本金	30百万		
沿革	平成1月3月	設立				
	平成2月4月	工場新築				
	平成4年5月	第二工場新築				
	平成5年12月	袋詰工場新築				
	平成8年1月	原料保管庫新築				
	平成9年11月	新工場新築（吸送気微生物発酵処理方式施設）				
	平成10年2月	事務所棟新築				
許可の内容	許可名/許可番号	年月日	事業計画・事業の範囲（事業区分、廃棄物の種類）			
	産業廃棄物処理施設設置 岩手県第112082-6号	許可	平成24年7月25日	木くずの破砕施設（令第7条第8号の2施設）		
		有効	-	木くず		
	産業廃棄物収集運搬業 岩手県00302009905	許可	令和2年3月14日	汚泥（含水率85%以下の有機性汚泥に限る）、木くず、動植物性残さ、動物のふん尿		
		有効	令和7年3月13日			
	産業廃棄物処分業 岩手県00322009905	許可	令和2年3月14日	①汚泥（含水率85%以下の有機性汚泥に限る）		
		有効	令和7年3月13日	②木くず ③動植物性残さ ④動物のふん尿 *木屑以外は堆肥化处理		
	一般廃棄物処理施設設置 岩手県2-1号	許可	平成14年5月15日	ごみ処理施設（堆肥化施設）		
		有効	-	し尿処理汚泥、浄化槽汚泥、生ごみ、木くず、刈草、貝殻		
	一般廃棄物処理業（収集運搬） 花巻市指令2生活第113-4号	許可	令和3年3月1日	し尿処理汚泥、浄化槽脱水汚泥、生ごみ、		
		有効	令和5年2月28日	木くず（流木、剪定枝等）、刈草、貝殻、		
	一般廃棄物処理業（処分業） 花巻市指令2生活第489号	許可	令和3年3月1日	処分業 し尿処理汚泥、浄化槽脱水汚泥、		
		有効	令和5年2月28日	生ごみ、木くず（流木、選定枝等）、刈草、貝殻		
	盛岡市一般廃棄物処理業（収集運搬） 盛岡市指令3廃第2-11号	許可	令和3年10月21日	一般廃棄物（木くずに限る）		
		有効	令和5年10月20日			
	一般廃棄物処理業（収集運搬） 西和賀町指令第22021501号	許可	令和4年2月15日	一般廃棄物収集運搬業		
		有効	令和6年2月14日			
一般廃棄物処理業（収集運搬） 大環組指令第20号	許可	令和2年11月1日	事業系一般廃棄物（貝殻）			
	有効	令和4年10月31日				
一般廃棄物収集運搬許可証 宮広局指令第200701号	許可	令和2年5月22日	海産物残渣（ウニ殻、カキ殻）			
	有効	令和4年5月21日				
産業廃棄物収集運搬業（福島） 福島県 第00707009905号	許可	令和1年5月9日	汚泥（含水率85%以下の有機性汚泥に限る。）			
	有効	令和6年5月8日				
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	堆肥袋詰機械		3	廃棄物収集運搬車	(4tダンプ)	1
	自動包装設備	(袋詰ロボット)	1	廃棄物収集運搬車	(5tダンプ)	1
	ホイールローダー	WA50&80&100	各1	廃棄物収集運搬車	(8tダンプ)	1
	ホイールローダー	WA150&200	各1	廃棄物収集運搬車	(アームロール車)	3
	ホイールローダー	WA320&WR11	各1	廃棄物収集運搬車	(10tダンプ)	4
	自走敷混合堆積機		2	廃棄物収集運搬車	(4tユニック・一廃)	1
	固定式破砕機	194t/日	2	廃棄物収集運搬車	(増tユニック・一廃)	1
	移動式破砕機		1	廃棄物収集運搬車	(10tユニック・一廃)	1
	バックフォア	(0.4&0.1)	各1			
	バックフォア	(0.5&0.7)	各1			
	フォークリフト		8			

処理施設の種類の	処理能力
(1) 中間処理（高速堆肥化处理）	76.5t
(2) 中間処理（移動式破砕施設による破砕処理）	194.0t（8時間稼働）



□受託した産業廃棄物

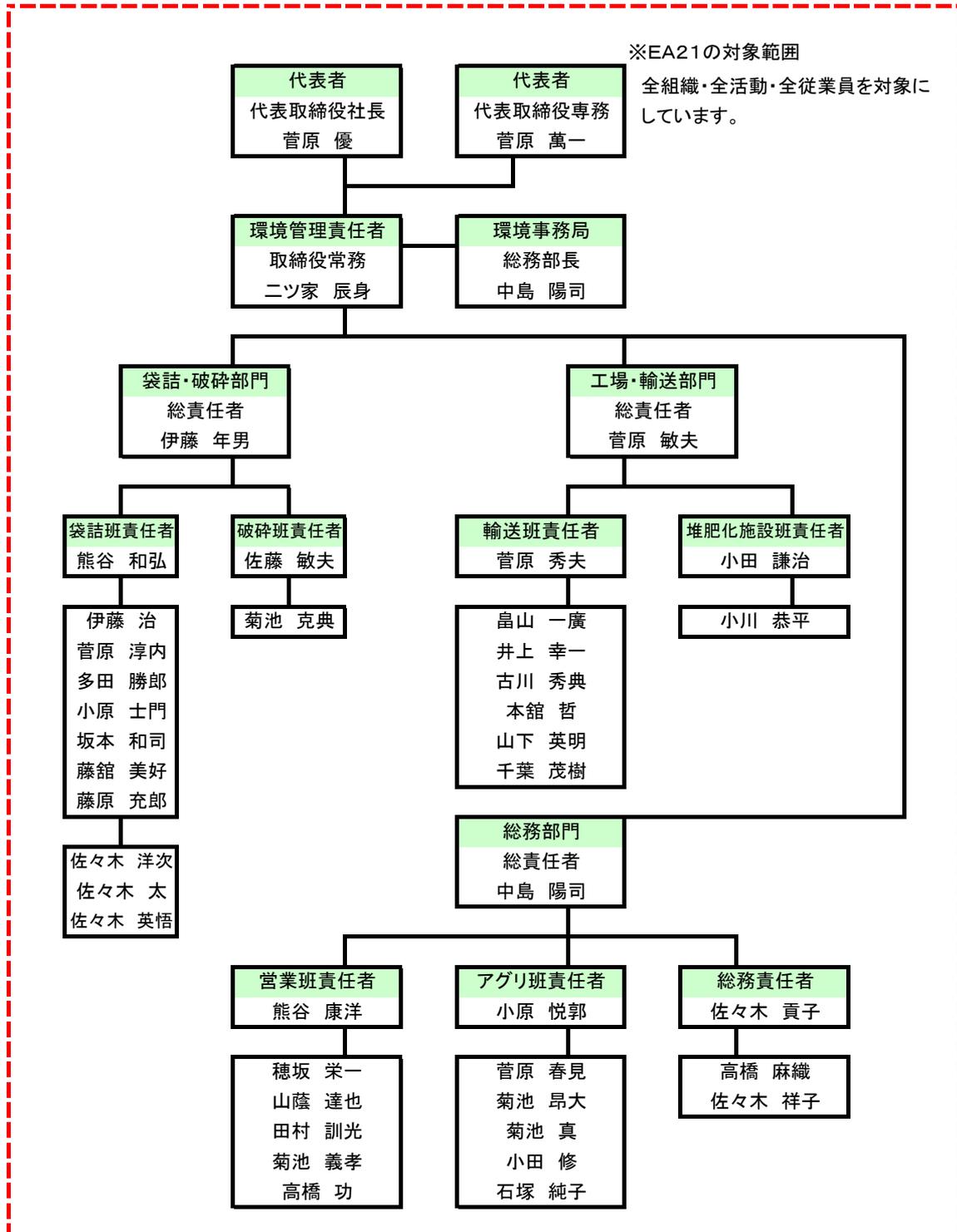
R3年度 (R3年1月～R3年12月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t			
一般・産業廃棄物収集運搬	(下水道汚泥)		4,412.32			
	(し尿処理汚泥)		3,554.16			
	(有機汚泥)		447.68			
	(動植物性残渣)		372.53			
	(家畜の糞尿)		0.00			
	(木くず)		2,890.39			
収集運搬量合計			11,677.08			
一般・廃棄物中間処理	(下水道汚泥)	一部破砕後、有用微生物群・液肥を 加えて混合・攪拌・堆積・一次、二次、 三次発酵	8,017.73			
	(し尿処理汚泥)		4,828.69			
	(生ゴミ)		2.98			
	(有機汚泥)		2,031.17			
	(動植物性残渣)		2,903.95			
	(家畜の糞尿)		374.35			
	(木くず)		5,252.98			
うち再資源化等	(下水道汚泥)	破砕	8,017.73			
	(し尿処理汚泥)		4,828.69			
	(生ゴミ)		2.98			
	(有機汚泥)		2,031.17			
	(動植物性残渣)		2,903.95			
	(家畜の糞尿)		374.35			
	(木くず)		5,252.98			
再資源化等量小計			23,411.85			
中間処理合計			23,411.85			
最終処分			0.00			
			0.00			
			0.00			
最終処分量合計			0.00			
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	(燃え殻)	(管理型最終処分場(委託))	0.00		
				0.00		
	再資源化等	(下水道汚泥)	}	}	農業肥料として売却	2,601.69
		(有機汚泥)				
		(動植物性残渣)				
		(家畜の糞尿)				
(木くず)			リサイクル緑化基盤材及び 土壌改良剤として再利用	4,811.70		
再資源化等量小計			7,413.39			
中間処理後処分量合計			7,413.39			

処理方法等	廃棄物等種類	内、一般廃棄物	内、産業廃棄物	処理量t
一般・産業廃棄物収集運搬	(下水道汚泥)	0.00	4,412.32	4,412.32
	(し尿処理汚泥)	3,554.16	0.00	3,554.16
	(有機汚泥)	0.00	447.68	447.68
	(動植物性残渣)	0.00	372.53	372.53
	(家畜の糞尿)	0.00	0.00	0.00
	(木くず)	931.21	1,959.18	2,890.39
収集運搬量合計		4,485.37	7,191.71	11,677.08
一般・廃棄物中間処理	(下水道汚泥)	0.00	8,017.73	8,017.73
	(し尿処理汚泥)	4,828.69	0.00	4,828.69
	(生ゴミ)	2.98	0.00	2.98
	(有機汚泥)	0.00	2,031.17	2,031.17
	(動植物性残渣)	0.00	2,903.95	2,903.95
	(家畜の糞尿)	0.00	374.35	374.35
	(木くず)	1,143.48	4,109.50	5,252.98
中間処理合計		5,975.15	17,436.70	23,411.85

## 岩手コンポスト株式会社 EA21実施体制図

承認	確認	作成
菅原 優	二ツ家辰身	中島陽司
社長	環境管理責任者	環境事務局



□事業の規模

(2021年1月～2021年12月)

売上高	355百万円
従業員	40名
延べ床面積	12,588㎡

□主な環境負荷の実績

項目		2020年 (基準年度)	2021年 (実績)		
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,336,223	1,323,005		
廃棄物排出量	kg/年	4,488	6,921		
一般廃棄物排出量	kg/年	1,272	1,245		
産業廃棄物排出量	kg/年	3,216	5,676		
総排水量	m <sup>3</sup> /年	1,982	2,022		
環境配慮製品販売額	千円/年	40,498	47,471		

□環境目標とその実績

項目	年度	2020年 (基準年度)	2021年 上段：通年 基準年比達成率	
			(目標)	(実績)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	579,054	573,264	536,823
			99%	92.7%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	628,032	621,752	622,007
			99%	99.0%
灯油・A重油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	131,741	130,424	149,417
			99%	113.4%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	1,338,827	1,325,440	1,308,247
一般廃棄物の削減	(kg/年)	1,439	1,425	1,398
			99%	97.2%
産業廃棄物の削減	(kg/年)	3,216	3,184	5,676
			99%	176.5%
節水	(m <sup>3</sup> /年)	1,981	1,961	2,022
			99%	102.1%
環境に配慮した製品(農業用肥料・リサイクル緑化基盤材)の販売	(千円/年)	40,498	40,903	47,471
			101%	117.2%

令和1年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数(東北電力):0.528kg-CO<sub>2</sub>/KWh (環境省報道発表令和3年1月7日)

□2021(R3)年度 環境活動計画&実績・評価

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)

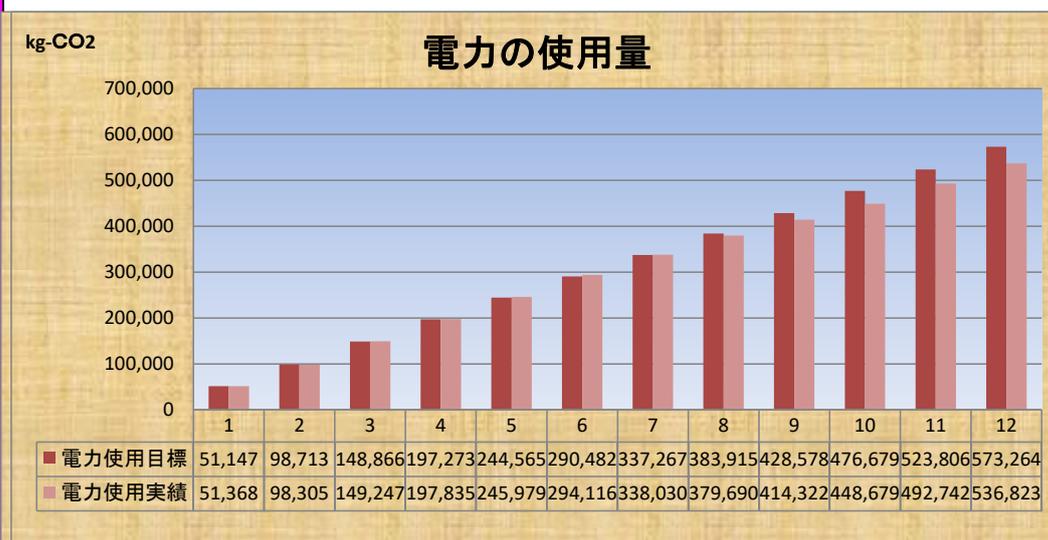
  

<b>電力の削減</b>		作業別に電気使用量の分散 不要照明のこまめな消灯 パソコン等退社時には電源を切る 啓蒙張り紙掲示  (0.528kg-co2/kwh) ※令和1年度の電気事業者ごとの実質排出 (環境省・経済産業省発表令和3年1月7日)
基準年度実績		
2020年	579,054 kg-CO <sub>2</sub>	
2019年度目標	99 %	
基準年度比	99 %	
削減率	-1 %	
	573,263 kg-CO <sub>2</sub>	
2020年度目標	567,473	98 %
2021年度目標	561,683	97 %

責任部門 責任者	工場長 菅原敏夫		総務 佐々木貢子									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年 kWh	97,847	90,997	95,947	92,607	90,472	87,842	89,504	89,241	85,443	92,020	90,157	94,617
基準年kg-CO <sub>2</sub>	51,663	48,046	50,660	48,896	47,769	46,381	47,258	47,119	45,114	48,587	47,603	49,958
(累計)	51,663	99,710	150,370	199,266	247,035	293,416	340,674	387,793	432,907	481,494	529,097	579,054
目標 (月別)	51,147	47,566	50,153	48,408	47,292	45,917	46,786	46,648	44,663	48,101	47,127	49,458
(累計)	51,147	98,713	148,866	197,273	244,565	290,482	337,267	383,915	428,578	476,679	523,806	573,264
今期 kWh	97,287	88,896	96,481	92,023	91,183	91,167	83,172	78,900	65,592	65,070	83,452	83,488
今期 kg-CO <sub>2</sub>	51,368	46,937	50,942	48,588	48,145	48,136	43,915	41,659	34,633	34,357	44,063	44,082
(累計)	51,368	98,305	149,247	197,835	245,979	294,116	338,030	379,690	414,322	448,679	492,742	536,823
評 価	×	○	×	×	×	×	△	○	○	○	○	○

計画:○(点線) 月次の評価基準  
 実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

二酸化炭素排出量削減

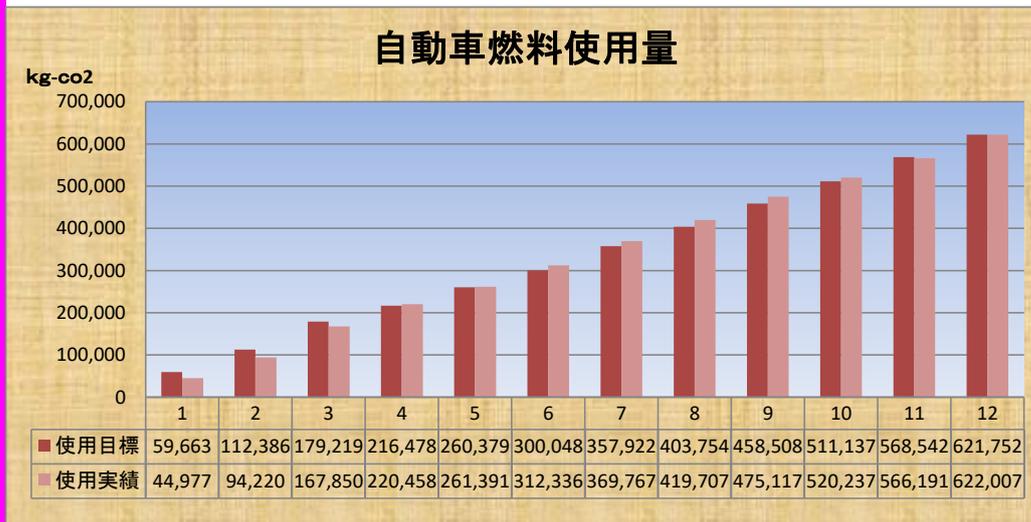


達成状況/是正策 (実施責任者)		評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四半期 第1	第1四半期達成する月と未達成な月があるが、相対的には現状を維持したい。	同 左
四半期 第2	第2四半期は累計で未達成ながらも、マズマズの推移である。	責任者のコメントの通り特段問題なし。
四半期 第3	8月より累計計画が達成ラインに転じる。	同 左
四半期 第4 総括	年間を通じての達成率93.6%と大きく目標を上回る。	節電に対する従業員の意識改革が図られ、実行されたと捉える。

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
	<b>自動車燃料の削減</b> 基準年度実績(軽油+ガソリン) 2020年 <b>628,032</b> kg-CO <sub>2</sub>  2021年度目標 基準年度比 <b>99</b> % 削減率 <b>-1</b> % <b>621,752</b> kg-CO <sub>2</sub>  2022年度目標 <b>615,472</b> <b>98</b> % 2023年度目標 <b>609,191</b> <b>97</b> %	エコ安全ドライブ運動展開 アイドリングストップ 冷暖房の控えめ使用 重機類のエンジンをこまめに切る  軽油 2.62kg-CO <sub>2</sub> /L (38.2MJ/Lx0.0687kg-CO <sub>2</sub> /ML)  ガソリン 2.32kg-CO <sub>2</sub> /L (34.6MJ/Lx0.0671kg-CO <sub>2</sub> /ML)

責任部門 責任者	工場長 菅原敏夫											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年ガソリンL	1,179	1,169	1,225	1,233	1,150	1,479	1,252	1,260	1,173	1,267	1,475	1,696
軽油L	21,921	19,259	24,640	13,250	15,880	13,960	21,168	16,526	20,037	19,136	20,790	18,980
(月別)kg-CO <sub>2</sub>	60,265	53,256	67,508	37,635	44,344	40,070	58,459	46,295	55,307	53,161	57,984	53,748
(累計)kg-CO <sub>2</sub>	60,265	113,522	181,029	218,664	263,009	303,078	361,537	407,832	463,140	516,300	574,285	628,033
目標 (月別)	59,663	52,724	66,833	37,259	43,901	39,669	57,874	45,832	54,754	52,629	57,405	53,210
(累計)	59,663	112,386	179,219	216,478	260,379	300,048	357,922	403,754	458,508	511,137	568,542	621,752
今期ガソリンL	1,354	1,203	1,281	1,397	1,433	1,653	1,700	1,390	1,406	1,354	1,527	1,660
軽油L	15,940	17,700	26,923	18,810	14,330	17,950	20,380	17,800	19,870	15,995	16,160	19,800
(月別) kg-CO <sub>2</sub>	44,977	49,244	73,630	52,607	40,934	50,945	57,431	49,940	55,410	45,120	45,955	55,816
(累計)	44,977	94,220	167,850	220,458	261,391	312,336	369,767	419,707	475,117	520,237	566,191	622,007
評 価	○	○	△	×	△	○	△	×	×	△	○	×

計画:○(点線) 月次の評価基準  
 実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×



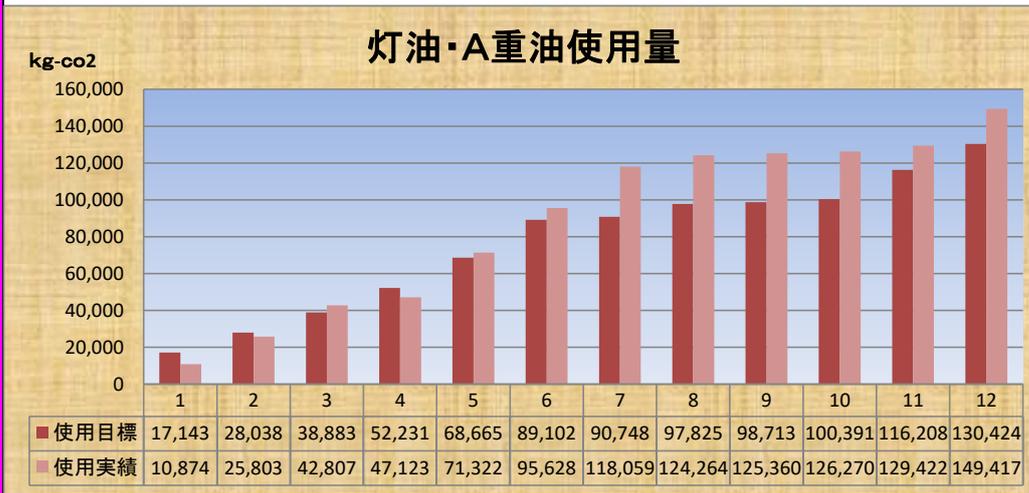
達成状況/是正策 (実施責任者)		評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四 第 半 期 第 1	第1四半期累計では、目標をクリアしている。	同 左
四 第 半 期 第 2	第2四半期累計では目標比104.1%と未達成。	エコ安全ドライブの実施を行い、燃料の削減を行っているものの結果がついてこないでいる。
四 第 半 期 第 3	第3四半期についても、目標比103.6%と未達成となっている。	同 左
四 第 半 期 第 4	実績は僅かながらも未達成であった。しかしながらほぼ計画通りである。	軽油・ガソリンの削減に対しても従業員の意識改革が図られ、実行されたと捉える。

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
	<b>灯油・A重油の削減</b> 基準年度実績(都市ガス+LPG+灯油) 2020年 <b>131,741</b> kg-CO <sub>2</sub>  2021年度目標 基準年度比 <b>99</b> % 削減率 <b>-1</b> % <b>130,424</b> kg-CO <sub>2</sub>  2022年度目標 <b>129,106</b> <b>98</b> % 2023年度目標 <b>127,789</b> <b>97</b> %	コスモグリーン工場製造時点での水分 調整管理の徹底 ウォームビズの実施 室内の温度設定の気配り  A重油 2.70963kg-CO <sub>2</sub> /L (39.1MJ/L×0.0693kg-CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup> )  灯油 2.49193kg-CO <sub>2</sub> /L (36.7MJ/L×0.0679kg-CO <sub>2</sub> /MJ)  LPG 3.00196kg-CO <sub>2</sub> /L

責任部門 責任者	総務		工場長											
	佐々木貢子	菅原敏夫	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年A重油L	4,680	2,590	2,930	3,900	5,510	7,260	0	2,390	0	0	5,170	3,460		
灯油 L	1,860	1,600	1,210	1,170	670	390	667	270	360	680	790	2,000		
LPG kg														
(月別)kg-CO <sub>2</sub>	17,316	11,005	10,954	13,483	16,600	20,644	1,662	7,149	897	1,695	15,977	14,359		
(累計)kg-CO <sub>2</sub>	17,316	28,321	39,276	52,759	69,358	90,002	91,664	98,813	99,710	101,405	117,382	131,741		
目標 (月別)	17,143	10,895	10,845	13,348	16,434	20,437	1,645	7,077	888	1,678	15,818	14,216		
(累計)	17,143	28,038	38,883	52,231	68,665	89,102	90,748	97,825	98,713	100,391	116,208	130,424		
今期A重油L	2,560	4,130	5,310	1,050	8,600	8,970	7,570	2,290	0	0	400	5,710		
灯油 L	1,580	1,500	1,050	590	360	0	770	0	440	365	830	1,815		
LPG kg														
(月別) kg-CO <sub>2</sub>	10,874	14,929	17,005	4,315	24,200	24,305	22,431	6,205	1,096	910	3,152	19,995		
(累計)	10,874	25,803	42,807	47,123	71,322	95,628	118,059	124,264	125,360	126,270	129,422	149,417		
評価	○	△	×	○	×	×	×	△	×	△	△	×		

計画:○(点線) 月次の評価基準  
 実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

二酸化炭素排出量削減



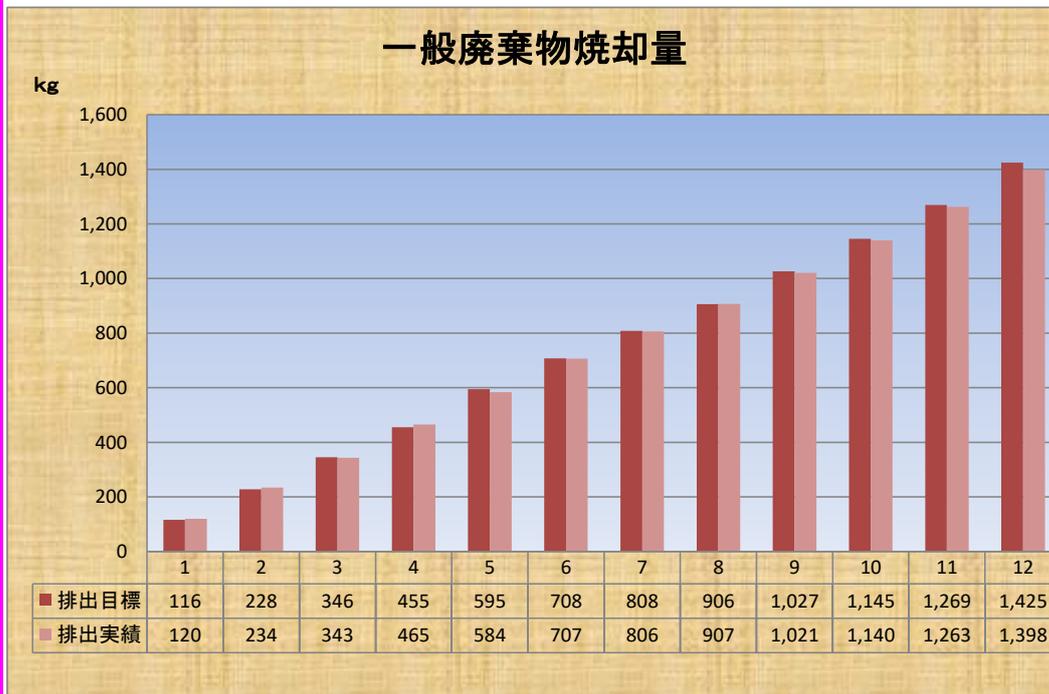
達成状況/是正策 (実施責任者)		評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四 第 半 期 第 1	第1四半期「カキ殻くん」の需要が多く、A重油の使用量が 多くなっている。	同 左
四 第 半 期 第 2	第1四半期と同じ推移であり未達成。	同 左
四 第 半 期 第 3	5月・6月・7月とカキ殻の乾燥を推し進めた結果、未達成と なっている。	9月～11月にかけて、乾燥機(トロンメル)の入れ替え予定 につき、前倒して牡蠣殻の乾燥を実施したため。
四 第 半 期 第 4 括 期	計画比114.5%と大きく未達成となる。要因として、カキ殻 販売が前年比151.4%と大幅に増え、それに伴い牡蠣殻乾 燥業務も増えたためA重油の使用量が増える。	業務量の増加に伴うものであり、やむを得ず。

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
	<b>一般廃棄物の削減</b> 基準年度実績 2020年 <b>1,439</b> kg  2021年度目標 基準年度比 <b>99</b> % 削減率 <b>-1</b> % <b>1,425</b> kg  2022年度目標 <b>1,410</b> <b>98</b> % 2023年度目標 <b>1,396</b> <b>97</b> %	裏紙の再利用 再生紙(名刺)の利用 フラットファイル・封筒の再利用 啓蒙張り紙掲示

責任部門 責任者	総務											
	佐々木貢子											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年 kg	117	113	119	111	141	114	101	99	122	120	125	157
(累計)	117	230	349	460	601	715	816	915	1,037	1,157	1,282	1,439
目標 (月別)	116	112	118	110	140	113	100	98	121	119	124	155
(累計)	116	228	346	455	595	708	808	906	1,027	1,145	1,269	1,425
今期実績(月別)	120	114	109	122	119	123	99	101	114	119	123	135
(累計)	120	234	343	465	584	707	806	907	1,021	1,140	1,263	1,398
評価	×	×	○	×	○	△	○	×	○	○	○	○

計画:○(点線) 月次の評価基準  
 実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

廃棄物排出量削減



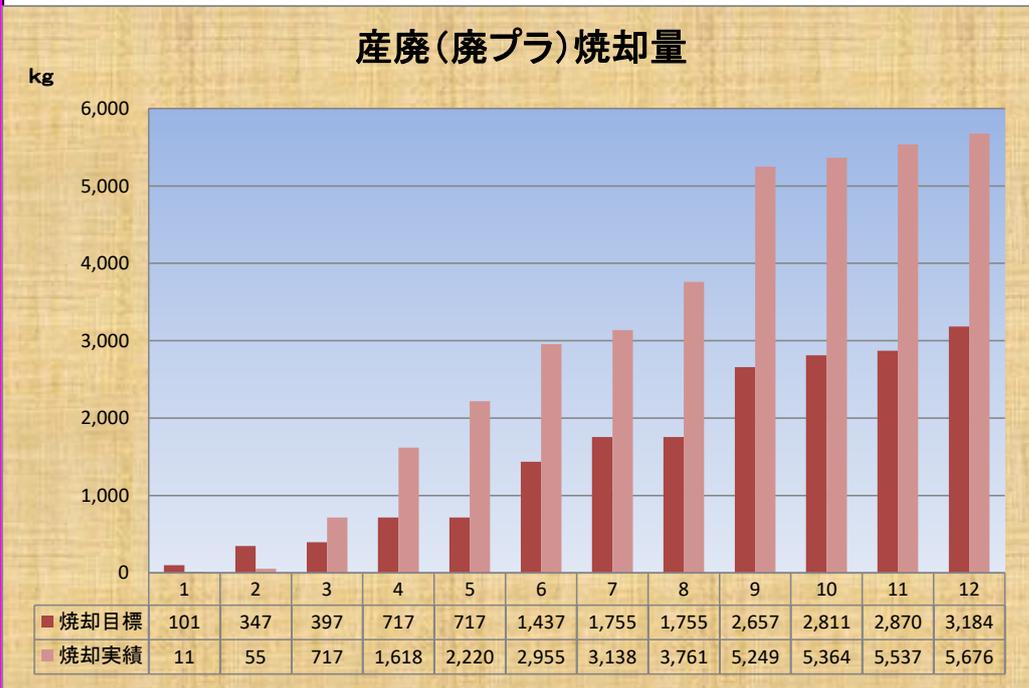
	達成状況/是正策 (実施責任者)	評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四 半 期 第 1	3月に計画ラインに乗る。	同 左
四 半 期 第 2	第2四半期も順調に推移している。	特段の問題なし。
四 半 期 第 3	第3四半期も順調に推移している。	同 左
四 半 期 第 4 総 括	新聞紙・段ボールの再利用を強力に推し進めた結果と捉える。	今後も再利用を推し進めること。

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
産廃(廃プラ)の削減	基準年度実績 2020年 <b>3,216</b> kg	社内でのフレコンバックの再利用 (フォークリフト・バックホー等による破損防止) 肥料袋の取扱い注意(破袋防止)
	2021年度目標 基準年度比 <b>99</b> % 削減率 <b>-1</b> % <b>3,184</b> kg	
	2022年度目標 <b>3,152</b> <b>98</b> %	
	2023年度目標 <b>3,120</b> <b>97</b> %	

責任部門 責任者	袋詰・破碎班 伊藤年男											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年 kg	102	248	51	323	0	728	321	0	911	155	60	317
(累計)	102	350	401	724	724	1,452	1,773	1,773	2,684	2,839	2,899	3,216
目標 (月別)	101	246	50	320	0	721	318	0	902	153	59	314
(累計)	101	347	397	717	717	1,437	1,755	1,755	2,657	2,811	2,870	3,184
今期実績(月別)	11	44	662	901	602	735	183	623	1,488	115	173	139
(累計)	11	55	717	1,618	2,220	2,955	3,138	3,761	5,249	5,364	5,537	5,676
評 価	○	○	×	×	×	×	△	×	×	△	×	△

計画:○(点線) 月次の評価基準  
実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

廃棄物排出量削減



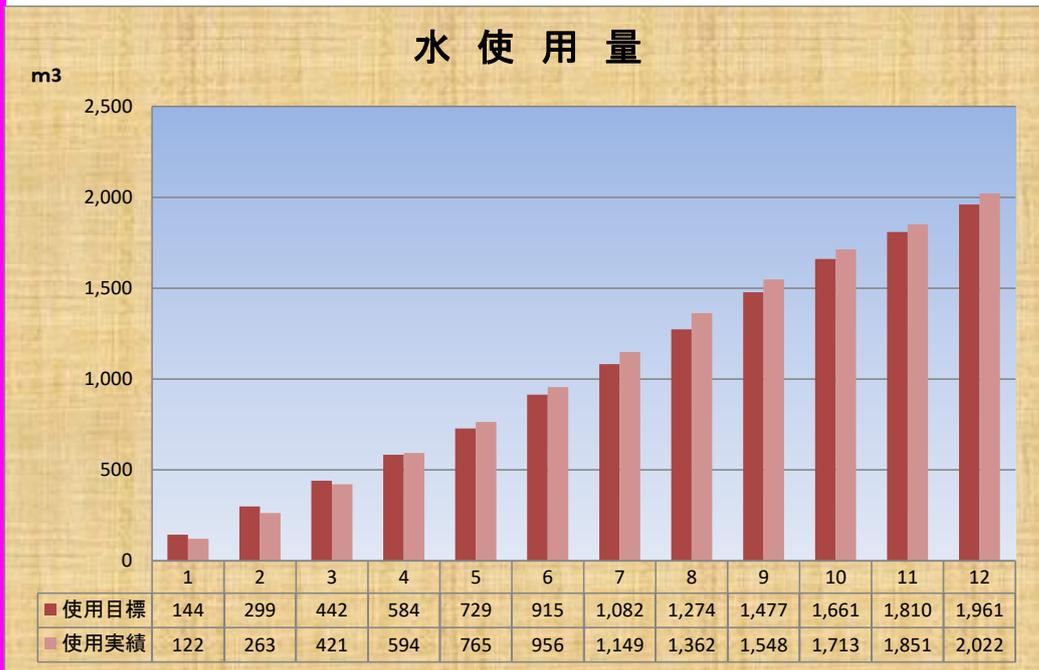
	達成状況/是正策 (実施責任者)	評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四第1 半期	3月度今まで溜まっていたフレコンバックの焼却を推し進めて実施したため、目標に対して未達成となっている。今後も当面続く予定。	同 左
四第2 半期	第1四半期同様に未達成のまま。	工場内の美化・整理整頓に努めること。
四第3 半期	今年度は工場全体で美化に努めるためにフレコンバックの焼却を推し進めた結果、第3四半期も未達成となる。	過去の焼却量の推移を見ると次のような実績であった。 H27年5,848kg H28年4,284kg H29年6,199kg H30年5,804kg R1年3,230kg R2年3,216kg R3年5,676kgである。 焼却量の少ない令和2年を基準年としての目標設定によることにも起因する。しかしながら、フレコンバックの取扱いに十分注意し使い回しの回数を増やしていくこと。
四第4 半期 括弧	年間でも未達成となる。美化の観点からも焼却をせざるを得なかった。	

方針	目 標 (方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	目標達成手段 (取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
	<b>水道水の削減</b> 基準年度実績 2020年 1,981 m <sup>3</sup>  2021年度目標 基準年度比 99% m <sup>3</sup> 削減率 -1% 1,961  2022年度目標 1,941 98% 2023年度目標 1,922 97%	洗車及び工場の適正使用 節水運動 啓蒙張り紙掲示

責任部門 責任者	工場長		総務																					
	菅原敏夫		佐々木貢子		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月								
基準年 m <sup>3</sup> (累計)	145	157	144	144	146	188	169	194	205	186	150	153	145	302	446	590	736	924	1,093	1,287	1,492	1,678	1,981	
	目標 (月別) (累計)	144	155	143	143	145	186	167	192	203	184	149	151	144	299	442	584	729	915	1,082	1,274	1,477	1,661	1,810
今期実績(月別) (累計)	122	141	158	173	171	191	193	213	186	166	138	171	122	263	421	594	765	956	1,149	1,362	1,548	1,713	1,851	2,022
	評 価	○	○	△	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×										

計画:○(点線) 月次の評価基準  
 実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

節水



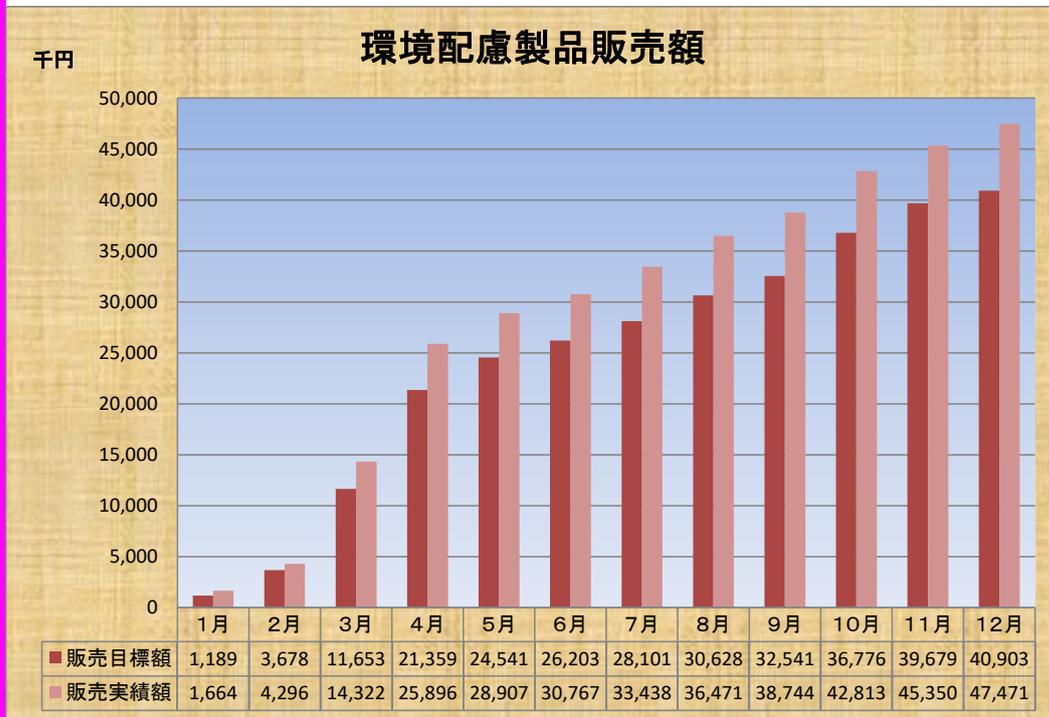
達成状況/是正策 (実施責任者)		評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四 第 半 期 第 1	第1四半期は計画通りの数値で推移している。	同 左
四 第 半 期 第 2	第2四半期は、一転未達成に転じている。	節水を行うことは勿論であるが、車両・重機の洗車は怠ることの無いようにしてください。
四 第 半 期 第 3	第3四半期も未達成のまま推移している。	同 左
四 第 半 期 第 4 総 括	業務の中で、生ごみ処理を強力に推し進めており、その容器ボックスの洗浄のために毎日大量の水を使用したため。	今後も生ごみの推し進めていく計画の為やむを得ず。

方針	目 標	目標達成手段
	(方針に掲げた取り組み項目は必ず挙げる 負荷の自己チェック目標設定した項目)	(取り組みの自己チェックで 挙げた内容を記載する)
	<b>環境配慮製品の販売促進</b> 基準年度実績 2020年 <b>40,498</b> 千円  2021年度目標 基準年度比 <b>101</b> % 増加率 <b>1</b> % <b>40,903</b>  2022年度目標 <b>41,308</b> <b>102</b> % 2023年度目標 <b>41,713</b> <b>103</b> %	販売先へのPR(ホームページの充実) マニースプレッターでの肥料散布先の拡大 1軒あたりの販売量の拡大

責任部門 責任者	営業推進 熊谷康洋											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年 円	1,177	2,465	7,896	9,610	3,150	1,646	1,879	2,502	1,894	4,193	2,874	1,212
(累計)	1,177	3,642	11,538	21,148	24,298	25,944	27,823	30,325	32,219	36,412	39,286	40,498
目標(月別)	1,189	2,490	7,975	9,706	3,182	1,662	1,898	2,527	1,913	4,235	2,903	1,224
(累計)	1,189	3,678	11,653	21,359	24,541	26,203	28,101	30,628	32,541	36,776	39,679	40,903
今期実績(月別)	1,664	2,632	10,026	11,574	3,011	1,860	2,671	3,033	2,273	4,069	2,537	2,121
(累計)	1,664	4,296	14,322	25,896	28,907	30,767	33,438	36,471	38,744	42,813	45,350	47,471
評価	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△	○

計画:○(点線) 月次の評価基準  
実績:●(実践) 月次、累計とも達成 ○/月次または累計が達成 △/月次、累計とも未達成 ×

環境配慮製品の販売促進



達成状況/是正策 (実施責任者)		評価/指示 (環境管理責任者・代表者)
四 半 期 第 1	第1四半期に於いて毎月達成している。	同 左
四 半 期 第 2	第2四半期も順調に推移している。	エコ計画は達成しているものの、会社としての販売計画には全く及ばない。更に販売強化を望む。
四 半 期 第 3	第3四半期については単月・累計共に計画達成している。	同 左
四 半 期 第 4 括 期	特に「カキ殻くん」の販売が前年比151%と増加する。	営業3名体制より5名体制にしたことが、寄与したものと思われる。

## □主な環境活動計画の内容と取組結果の評価

今回は、1月～12月までの目標とその実績について、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況	目標値 実績値	単位 基準年度比	評価（結果と今後の方向）
<b>電力の削減</b> ・作業別に電気使用量の分散 ・不要照明のこまめな消灯 ・パソコン等退社時には電源を ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	579,054	k g -CO <sub>2</sub>	目標達成
	目 標	573,264	99.0%	年間を通じて達成率93.6%と大きく上回る。
	実 績	536,823	92.7%	
<b>自動車燃料の削減</b> ・アイドリングストップ ・エコ安全ドライブ運動展開 ・冷暖房の控えめ使用 ・重機類のエンジンをこまめに切る。	基準年度	628,032	k g -CO <sub>2</sub>	目標未達成
	目 標	621,752	99.0%	年間を通じて未達成となるも、ほぼ計画通りに推移した。
	実 績	622,007	99.0%	
<b>灯油・A重油の削減</b> ・コスモグリーン工場製造時点水分調整管理の徹底。 ・ウォームビズの実施 ・室内温度設定の気配り	基準年度	131,741	k g -CO <sub>2</sub>	目標未達成
	目 標	130,424	99.0%	牡蠣殻乾燥の業務量が増え、特にA重油の使用量が増加する。
	実 績	149,417	113.4%	
<b>一般廃棄物の削減</b> ・裏紙の再利用 ・再生紙（名刺）の利用 ・フラットファイル・封筒の再 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	1,439	kg	目標達成
	目 標	1,425	99.0%	新聞紙・段ボールの再利用を強力に推し進めた結果。
	実 績	1,398	97.2%	
<b>産業廃棄物の削減</b> ・社内でのフレコンバックの再利用（フォークリフト・パレット等による破損防止） ・肥料袋の取り扱い注意（破袋防止）	基準年度	3,218	kg	目標未達成
	目 標	3,184	98.9%	美化の観点からも、対応をせざるを得ない。
	実 績	5,676	176.4%	
<b>節水</b> ・洗車及び工場の適正使用 ・節水運動 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	1,981	m <sup>3</sup>	目標未達成
	目 標	1,961	99.0%	生ごみの処分業務を推し進めており、その容器ボックスの洗浄のために大量の水を使うようになった。
	実 績	2,022	102.1%	
<b>環境に配慮した製品（リサイクル緑化基材・農業用肥料）の販売</b> ・販売先へのPR（ホームページの充実） ・マニアスプレッターでの肥料散布先の拡大 ・1件当たりの販売量の拡大	基準年度	40,498	千円	目標達成
	目 標	40,903	101.0%	「カキ殻くん」の販売が好調であった。
	実 績	47,471	117.2%	
<b>総括</b>	達成できた項目又、未達成であった項目とがあるが、基本的に達成できた項目については引き続き施策を継続すること、未達成であった項目については、全社員での見直しと施策に対する意識の徹底と実践を推し進めます。			

次年度（2022年）の取り組み計画	達成状況	値	単位
<b>電力の削減</b> ・作業別に電気使用量の分散 ・不要照明のこまめな消灯 ・トイレの便座シート（保温） 退社時切る。 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	579,054	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	567,473	98.0%
<b>自動車燃料の削減</b> ・エコ安全ドライブ運動展開 ・燃費向上のためEMXの注入 ・エコ安全ドライブ運動展開 ・重機類のエンジンをこまめに切る	基準年度	628,032	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	615,471	98.0%
<b>灯油・A重油の削減</b> ・エアコンの温度設定 夏25度 冬23度 ・カキ殻の乾燥必要量の見直し ・ウォームビズの実施	基準年度	131,741	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	129,106	98.0%
<b>一般廃棄物の削減</b> ・ミスコピーの防止 ・小包発送時に新聞紙等の再利 ・会議資料の簡素化	基準年度	1,439	kg
	目 標	1,410	98.0%
<b>産業廃棄物の削減</b> ・社内でのフレコンバックの再利用 （フォークリフト・バック等による破損防 止） ・肥料袋の取り扱い注意 （破袋防止）	基準年度	3,216	kg
	目 標	3,152	98.0%
<b>節水</b> ・洗車及び工場の適正使用 ・節水運動 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	1,981	m <sup>3</sup>
	目 標	1,941	98.0%
<b>環境に配慮した製品（リサイクル線）</b> ・営業担当テリトリーの見直し変 ・販売先へのPR （ホームページの充実） ・営業担当テリトリーの拡大 ・マニアスプレッターでの肥料散布先の	基準年度	40,498	千円
	目 標	41,308	102.0%

2023年度の取り組み計画	達成状況	値	単位
<b>電力の削減</b> ・不要照明のこまめな消灯 ・トイレの便座シート（保 退社時切る。 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	579,054	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	561,683	97.0%
<b>自動車燃料の削減</b> ・重機類の過負荷運転の防止。 ・エコ安全ドライブ運動展開 ・重機類のエンジンをこまめに切る	基準年度	628,032	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	609,191	97.0%
<b>灯油・A重油の削減</b> ・エアコンの温度設定 夏25度 冬23度 ・カキ殻の乾燥必要量の見直し ・ウォームビズの実施	基準年度	131,741	k g -CO <sub>2</sub>
	目 標	127,789	97.0%
<b>一般廃棄物の削減</b> ・ミスコピーの防止 ・会議資料の簡素化	基準年度	1,439	kg
	目 標	1,396	97.0%
<b>産業廃棄物の削減</b> ・社内でのフレコンバックの再利用 （フォークリフト・バックル等による破損防 止） ・肥料袋の取り扱い注意 （破袋防止）	基準年度	3,216	kg
	目 標	3,120	97.0%
<b>節水</b> ・洗車及び工場の適正使用 ・節水運動 ・啓蒙張り紙掲示	基準年度	1,981	m <sup>3</sup>
	目 標	1,922	97.0%
<b>環境に配慮した製品（リサイクル緑</b> ・販売顧客の拡大（新規開 既存先掘り起し） ・営業担当販売テリトリーの拡 ・1軒あたりの販売量の拡大	基準年度	40,498	千円
	目 標	41,713	103.0%

□代表者による全体評価と見直しの結果

1、評価項目 1月～12月間

評価項目	内 容	備考
①環境関連法の遵守状況	無煙化小型燃焼機に関して、岩手県生活環境保護条例（第52条）では、原則使用禁止。但し（排ガスのダイオキシン類が5 ng-T E Q/m <sup>3</sup> N以下で、廃掃法の構造基準及び焼却方法を満たす施設は使用可能）。当社で使用している焼却炉は県の基準に対して0.11（ng/m <sup>3</sup> ）。（有）関口鐵工所型式A B-400令和2年7月1日花巻保健所川島さんへ報告済み。	令和2年6月無煙小型燃焼機を新しいものに交換済み。
②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	CO <sub>2</sub> 排出削減について、考えられる施策等を全社員で共有しながら推し進め、全社員のCO <sub>2</sub> 削減に対する意識改革は大きく改善される。但し、「灯油・A重油」「産廃（廃プラ）」「水道水」の項目については未達成であった。売上増加に伴う計画未達成項目はやむを得ない状況もある。	
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	①例年行っている。沈殿槽の清掃作業の他、今回は沈殿池の堆積物除去作業も新たに行うもうまくいかず、今後の対応について、検討要。 ②灯油・A重油の削減項目について、牡蠣殻の販売需要が多くなり、それに伴う牡蠣殻の乾燥業務も増えたためでありやむを得ず。 ③水道水の削減項目について、生ごみ処理の拡大を経営の柱として増加し続けており、容器ボックスの洗浄のために水を大量に使用せざるを得なかった。	
④外部からの苦情等の受付結果	苦情はありません。	
⑤組織に影響する法規制動向	特段なし。	
⑥エコアクション環境改善提案	特段なし。	
⑦その他	特段なし。	

上記のとおり報告します。令和4年3月8日 環境管理責任者 ニツ家辰身

2、代表者による見直し等の指示

見直し項目	評 価	指 示 事 項
1 環境方針	方針に即して、全社員が行動したと理解をしている。	特段無し。
2 環境目標及び環境活動計画	達成できた項目と未達成であった項目とがあるが、基本的に達成できた項目については引き続き継続推進する事。	未達成項目については、全社員での見直しと施策に対する意識の徹底を推し進める事。特に環境配慮製品の販売促進部門。
3 実施体制	特段無し。	特段無し。
4 その他（社員教育）	必要な都度、適宜に会議などを通じて、よく社員教育を実施している。	新入社員が入社する等、社員の入れ替わり時は、エコアクション教育を徹底し情報の共有化のもと活動を展開すること。

上記のとおり指示します。令和4年3月8日

代表者 菅 原 優

## □環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制の逸脱はありませんでした。  
 また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。住民からの苦情もありませんでした。しかしながら、排水の自主測定に於いて自主管理基準及び公害防止協定の未達成がありました。又行政測定でも自主管理基準の未達成がありました。  
 今年度は対策を検討中であり、改善の実施をいたします。

当社が法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物（汚泥）
肥料取締法	肥料の登録に当り、取締法の基準にあった肥料の製造
消防法	危険物貯蔵所（灯油貯蔵タンク）の届出
道路交通法	公安委員会の交通規制に協力

## □工場公開

連絡後打合せによりいつでも公開

## □社員資格取得状況一覧

(名)

中間処理施設技術管理者認定講習修了	1
許可申請に関する更新の処分課程講習終了	2
許可申請に関する更新の収集・運搬課程修了	2
大型一種運転免許	15
大型特殊運転免許	7
けん引一種運転免許	2
はい作業主任者技能講習	3
小型移動式クレーン運転技能講習	9
フォークリフト運転技能講習	22
車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込用及び掘削用）	15
車両系建設機械運転技能講習（解体用）	7
玉掛技能講習	12
ガス溶接	7
環境社会検定試験（ECO検定）	3
第一種衛生管理	1

### 【産業廃棄物の処理に係る講習会】

講習会の名称 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の申請に関する講習会  
 （収集・運搬過程）  
 実施者 (財)日本産業廃棄物処理復興センター  
 終了日 2019年10月31日  
 修了者数 2名  
 終了証番号 第519088007号

講習会の名称 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会  
 （処分過程）  
 実施者 (財)日本産業廃棄物処理復興センター  
 終了日 2019年10月31日  
 修了者数 2名  
 終了証番号 第619165010号

□岩手コンポスト株式会社 財務諸表

貸借対照表

令和3年12月31日現在 (単位:千円)  
千円未満切捨て

科目	金額
資産の部	
【流動資産】	113,559
【固定資産】	655,480
【有形固定資産】	641,780
【無形固定資産】	0
【投資その他の資産】	13,700
資産の部合計	769,039

科目	金額
負債の部	
【流動負債】	164,473
【固定負債】	374,382
負債の部合計	538,855
資本の部	
【資本金】	30,000
【利益剰余金】	200,184
資本の部合計	230,184
負債・資本の部	769,039

損益計算書

自 令和3年 1月 1日 (単位:千円)  
至 令和3年12月31日 千円未満切捨て

科目	金額
経常損益の部	
【営業損益の部】	
【営業収益】売上高	355,191
【営業費用】売上原価	227,979
売上総利益	127,212
【販売費及び一般管理費】	143,804
営業損失	-16,592
【営業外損益の部】	
【営業外収益】	8,626
【営業外費用】	7,679
経常利益	-15,645
【特別損益の部】	
【特別利益】	1,473
【特別損失】	0
税引前当期純損失	-14,172
法人税等	3,675
税引後当期純損失	-17,847
前期繰越利益	218,031
当期末処分利益	200,184

貸借対照表

令和2年12月31日現在 (単位:千円)  
千円未満切捨て

科目	金額
資産の部	
【流動資産】	98,133
【固定資産】	599,499
【有形固定資産】	579,747
【無形固定資産】	0
【投資その他の資産】	19,752
資産の部合計	697,632

科目	金額
負債の部	
【流動負債】	79,828
【固定負債】	369,773
負債の部合計	449,601
資本の部	
【資本金】	30,000
【利益剰余金】	218,031
資本の部合計	248,031
負債・資本の部	697,632

損益計算書

自 令和 2年 1月 1日 (単位:千円)  
至 令和 2年12月31日 千円未満切捨て

科目	金額
経常損益の部	
【営業損益の部】	
【営業収益】売上高	373,896
【営業費用】売上原価	227,435
売上総利益	146,461
【販売費及び一般管理費】	129,909
営業利益	16,552
【営業外損益の部】	
【営業外収益】	4,216
【営業外費用】	6,612
経常利益	14,156
【特別損益の部】	
【特別利益】	7,777
【特別損失】	9
税引前当期純利益	21,924
法人税等	7,350
税引後当期純利益	14,574
前期繰越利益	207,957
当期末処理利益	218,031

### 貸借対照表

令和1年12月31日現在 (単位:千円)  
千円未満切捨て

科 目	金 額
資産の部	
【流動資産】	92,498
【固定資産】	619,221
【有形固定資産】	600,861
【無形固定資産】	0
【投資その他の資産】	18,360
資産の部合計	711,719

科 目	金 額
負債の部	
【流動負債】	88,384
【固定負債】	385,378
負債の部合計	473,762
資本の部	
【資本金】	30,000
【利益剰余金】	207,957
資本の部合計	237,957
負債・資本の部	711,719

### 損益計算書

自 平成31年 1月 1日 (単位:千円)  
至 令和 1年12月31日 千円未満切捨て

科 目	金 額
経常損益の部	
【営業損益の部】	
【営業収益】売上高	405,061
【営業費用】売上原価	241,661
売上総利益	163,400
【販売費及び一般管理費】	122,631
営業利益	40,769
【営業外損益の部】	
【営業外収益】	11,192
【営業外費用】	17,948
経常利益	34,013
【特別損益の部】	
【特別利益】	338
【特別損失】	19
税引前当期純利益	34,332
法人税等	7,960
税引後当期純利益	26,372
前期繰越利益	186,085
当期未処理利益	207,956

### 貸借対照表

平成30年12月31日現在 (単位:千円)  
千円未満切捨て

科 目	金 額
資産の部	
【流動資産】	63,478
【固定資産】	650,468
【有形固定資産】	635,612
【無形固定資産】	0
【投資その他の資産】	14,856
資産の部合計	713,946

科 目	金 額
負債の部	
【流動負債】	50,513
【固定負債】	447,348
負債の部合計	497,861
資本の部	
【資本金】	30,000
【利益剰余金】	186,085
資本の部合計	216,085
負債・資本の部	713,946

### 損益計算書

自 平成30年 1月 1日 (単位:千円)  
至 平成30年12月31日 千円未満切捨て

科 目	金 額
経常損益の部	
【営業損益の部】	
【営業収益】売上高	326,994
【営業費用】売上原価	201,563
売上総利益	125,431
【販売費及び一般管理費】	121,600
営業利益	3,831
【営業外損益の部】	
【営業外収益】	7,835
【営業外費用】	11,094
経常利益	572
【特別損益の部】	
【特別利益】	1,051
【特別損失】	43
税引前当期純利益	1,580
法人税等	211
税引後当期純利益	1,369
前期繰越利益	187,716
当期未処分利益	186,085